

「ワシントン・エレガンス」ワシントンワインの将来的方向性をけん引するグレッグ・ハリントン(マスター・ソムリエ)

オーナー・グレッグ・ハリントン (Greg Harrington) が、2005 V T G より、ワシントン・コロンビア・ヴァレー、ワラワラ・ヴァレーを中心に、「土地の個性を表現し、新樽が強く出過ぎない、酸のバランスが良く、食事と共にあるワイン」を造りたいと設立。

グラマシーとは「驚き」や「感謝」の気持ちを表す古語であり、ニューヨークの唯一のプライベート・パーク・グラマシー・パークに思い入れのあるグレッグがワイナリー名に採用。ラベルは現代モダンアーティストのデザイン。今後成熟していくワシントン・ワインの方向性を示唆する注目すべきワイン。



商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Vignier Columbia Valley ヴィオニエ コロンビア・ヴァレー	Columbia Valley	白	2021	750	¥5,800	
	Vignier 100% コロンビア・ヴァレーの西北シラン湖にあるアントワン・クリークの畑から、輝くばかりの酸とミネラル感が満載の葡萄を調達。オーナー・グレッグ・ハリントンはもったりとしたヴィオニエ（温暖な地区のヴィオニエ）を良しとせず、切れ上がった酸、ミネラル感を大切にする。						
	Lower East Syrah Columbia Valley ローアー・イースト シラー コロンビア・ヴァレー	Columbia Valley	赤	2020	750	¥4,900	
	グラマシー・セラーズでは、ロース・スタイルのセカンド・ワインとして「ローアー・イースト」の名前でシラーを造る。ワシントンの東南にある畑からという意味とニューヨークのローアー・イースト地区（スノップでアーティステック）とをかける。20) Sy89%, Carignan8%, Mourvedre 3% 70%全梗発酵、仏産225ℓと500ℓで21ヶ月熟成						
	Lower East Cabernet Sauvignon Columbia Valley ローアー・イースト カベルネ・ソーヴィニヨン	Columbia Valley	赤	2017	750	¥5,300	
	Cabernet Sauvignon 82%, Merlot 10%, Cabernet Franc 7% Petit Verdot 1% 仏産樽17か月熟成（新樽32%） グラマシー・セラーでは、ボルドー・スタイルのセカンド・ワインとして「ローアー・イースト」の名前でカベルネ・ブレンドを造る。ワシントンの東南にある畑からという意味とニューヨークのローアー・イースト地区（スノップでアーティステック）とをかける。						
	Cabernet Sauvignon Columbia Valley カベルネ・ソーヴィニヨン コロンビア・ヴァレー	Columbia Valley	赤	2018	750	¥9,000	
	Cabernet Sauvignon 92%, Merlot 7%, Petit Verdot 1% フィニーヒル、自社畑JB ジョージ（ワラ・ワラ）、バックス&ディオニソス、オクターヴ（ロックス）仏産樽22か月熟成（新樽30%） ボルドー・スタイルを目指し、ワシントンの良さであるまろやかなタンニンと過熟過ぎないバランスが特徴。						
	Syrah Les Collines Walla Walla Valley シラー レ・コリン ワラ・ワラ・ヴァレー	Walla Walla Valley	赤	2019	750	¥8,800	在庫僅少
	Syrah 97%, Vignier 3% ザ・デュースの後継ワイン。2016年からはザ・デュースの名前を止め、「レ・コリン・ヴィンヤード」を冠したシングル・ヴィンヤードのワインとなった。レ・コリン・ヴィンヤードはワラ・ワラ・ヴァレーのブルー山脈の山裾・東側標高347m-418mの斜面にあり特に標高の高いブロックを使用。85%全房発酵、仏産樽熟成17か月（新樽4%） 樽香をふんわりと残し、スパイシーでパワフルながらフィネスとエレガンスを兼ね備える。						
	John Lewis Syrah Walla Walla Valley ジョン・ルイス シラー ワラ・ワラ・ヴァレー	Walla Walla Valley	赤	2019	750	¥13,500	在庫僅少
	Syrah100% 畑: Les Collines ブロック46シングル・キュヴェ 全房発酵90%、仏産500ℓ14樽（パンチョン）&ストックキンジャー大樽2000ℓにて19ヶ月熟成（新樽10%） オーナー・グレッグの妻父の名前を冠した、フラッグシップワイン。ラベルにはグラマシー・パークの場所を示している。長い樽熟成ながら、樽のニュアンスはワインに溶け込み、しなやかで複雑性に富み、非常に長い余韻。パワフルながらフィネスとエレガンスが存在するグラマシーを象徴するワイン。生産量は約200ケースのみ。世界中より要望が絶えない。						





～コート・オブ・マスター・ソムリエ～

世界には二つのソムリエ協会があり、日本のソムリエ協会が属しているのは、アソシエーション・オブ・ソムリエ・インターナショナル(ASD)、もう一つがこのコート・オブ・マスター・ソムリエ。ソムリエ、アドヴァンス・ソムリエ、最高位が取得が最難関と言われるマスター・ソムリエとなる。日本のマスター・ソムリエとは別物である。ワイン業界の権威として認知されているマスター・オブ・ワイン(WSET)に匹敵する栄誉であり、欧米では高い認知と尊敬を得ている。



グラマシー・セラーズ/Gramercy Cellars

オーナー・グレッグ・ハリントン (Greg Harrington) が、2005 V T G より、ワシントン・コロンビア・ヴァレー、ワラワラ・ヴァレーを中心に、「土地の個性を表現し、新樽が強く出過ぎない、酸のバランスが良く、食事と共にあるワイン」を造りたいと設立。グラマシーとは「驚き」や「感謝」の気持ちを表す古語で、ラベルは現代モダンアートで知られるドロール・ベンシェトリットのデザインを採用している。

グレッグ・ハリントン/Greg Harrington

グレッグは1996年、25歳の時、最年少で、「コート・オブ・マスター・ソムリエ」協会の最高位「マスター・ソムリエ」を取得。ニューヨーク、ラスベガス、シカゴなど全米各地でソムリエ、ワイン・ディレクターとして辣腕を振るい、有名レストラン・グループのトップや各ワイン団体の主宰を務めてきた。アメリカでは知る人ぞ知るワイン業界のキー・パーソン。カリフォルニア、オレゴン、ワシントンのみならず、世界中のワイナリーからも一目置かれる存在。

グレッグのキャリアの一部：BR Guest Restaurants & James Hotels の飲料ディレクター、ニューヨーク、ラスベガス、スコットデール、シカゴの15のレストランとホテルの飲料監修、Wolfgang Puck Group のワイン・ディレクター (Spago, Postrio, Chinois を含む)、様々なレストランのワインを監修指導し、ワイン・スペクテーターのベスト・グループ・レストランの最優秀賞を取得など数えきれない輝かしいキャリアを持つ。

グラマシー・パーク/Gramercy Park

ニューヨークにある唯一のプライベート・パーク。柵に囲まれ、近隣の居住者のみこの公園に入れる鍵を持つ。近隣は歴史的な建物と独特の雰囲気を持つ街。グレッグの祖父母はここに住み、グレッグと妻のバムが最初のデートをしたのがこの近くの有名レストラン。二人もこの近隣に住んでいた。思入れの強いこの「グラマシー」をワイナリー名に。ラベルはこの公園回りの柵のデザイン。

GRAMERCY CELLARS

ワシントン州/Washington State ～グレッグ・ハリントンMSが魅せられたワラ・ワラ・ヴァレー/Walla Walla Valley～

ワラワラのワインほど、グレッグ好みであり、アメリカ中でも、これ程将来性に優れたところはないと確信すると、レストラン・ビジネスを辞め、ワイン造り、ワシントンへの移住を決めた。早くも2005年VTGよりグラマシー・セラーが設立されることになる。

ワシントンワイン産地の中でも別格の感のあるワラワラ・ヴァレーは非常に痩せた土地、日照量の多さ、夜の冷涼さ、雨がほとんど降らない長い生育期間、複雑な土壌構成・・・と最良の小粒な葡萄を産する絶対条件が整っており、すでに評価の高いクウィルシーダ・クリーク、レオネッティ、カユース、Kヴィントナーズなどが素晴らしいワインを産している。ここにグレッグが参入することにより、すでに新しい若手ワインメーカーたちのコミュニティや意見交換の場、コラボレーションなどが始まっており、今後グレッグの経験豊富なレストラン業界でのキャリアや理想とする食と共にあるべきバランスの取れたワイン造りがワシントンワインの将来をけん引していくことであろう。既にワイン造りを始めて数年の2008年度に、シアトルのワイン雑誌からグレッグはベスト・ニュー・ワインメーカーを、グラマシー・セラーズはWine & Spirits誌から、2010、2011、2012、2013、2014、2016、2017、2018、2020年度の世界Top100ワイナリーに選出されている。グレッグは現在も、コーネル・ホテル・スクールにおいて客員講師を務めており、コート・オブ・マスター・ソムリエ協会の議長、ワシントンワイン協会の要職、ワラワラ地区のワイン・トレードの講師でもある。自社畑グラマシー・エステートをワラ・ワラ・ヴァレーに取得、更に幾つかの自社畑や完全自社契約のブロックを持ち栽培に注力している。ワラワラ・ヴァレーにテイスティング・ルーム、ワイナリーを新設。醸造面においても様々な種類のタンクや樽をコンビネーションさせ進化を続けている。

年間生産量約8,000ケース、ワラ・ワラ・ヴァレー、ヤキマ・ヴァレー、ホース・ヘブン・ヒルズ、コロンビア・ヴァレーから、シラーとカベルネ・ソーヴィニオンを中心に、世界に評価されるバランスの整った、「土地の個性を表現し、新樽が強く出過ぎない、酸のバランスが良く、食事と共にあるワイン」を目指している。

2021

ヴィオニエ
VIOGNIERコロンビア・ヴァレー
Columbia Valley

希望小売価格 5,800 円 (税別)

品種：ヴィオニエ 100%

畑：Antoine Creek アントワーズ・クリーク
(コロンビア・ヴァレーの北西
レイク・シュランAVA)
秀逸な酸とミネラル感Forgotten Hills フォゴットン・ヒルズ
(ワラ・ワラ・ヴァレーAVAの北東)
自社畑に植わるヴィオニエ、風が常時
吹き、火山性土壌からの鉱物的要素醸造：ステンレス・タンク醗酵
フレッシュな果実が楽しめる
60% そのままステンレスで熟成
40% 数年使いの仏産樽パンション 500ℓ
にて熟成
ワインにふくよかさと、まろやかな
口当たりを加味する
8か月熟成後、両者をブレンドする

生産量：325 ケース

グラマシー・セラーズでは初めからヴィオニエを造ろうとしていたわけではなく、2010年ワシントンDCでソムリエをする友人から「家族がレイク・シュランで良いヴィオニエを栽培しているんだが、見てくれないか？」との電話をもらい、最初にその畑を訪れた時から、すぐに長期契約を申し込んだ程、素晴らしいヴィオニエを手に入れることができた為、グラマシー・セラーズに白のラインナップが加わった。

この畑「アントワーズ・クリーク」から生み出されるヴィオニエには、しっかりとした酸とミネラル感があり、それはニュー・ワールドのヴィオニエに欠けがちな要素である。ニュー・ワールドのやや暖かい産地で栽培されるヴィオニエは強い日照にすぐ日焼けし、過度に熟し、また生育状況や糖度や成熟にばらつきが出がちである。例えば一房に糖度が3-5度ほど違う粒が混ざっていることがほとんど。しかしながらこのレイク・シュランAVAにあるアントワーズ・クリークの葡萄は均一に熟し、秀逸な酸をキープできるという素晴らしい畑であり、十分に手をかけた栽培農家のおかげである。ブレンドされるワラ・ワラ・ヴァレー北東にある自社畑フォゴットン・ヒルズのヴィオニエは、ブルーマウンテン山裾にある畑で常時風が吹き込み冷涼で、火山性土壌からの鉱物的ミネラル感が加わる。

味わい：瑞々しい柑橘類、レモン、梨、マンダリン・オレンジの皮と白い花のアロマ。アタックには引き締まった酸が感じられ、軽やかなヴォリューム感。口当りは非常にまろやかで口中を覆うような滑らかさが溢れてくる。辛口で爽快な酸、フレッシュな果実、滑らかな口当たりのバランスがこのワインの特徴。

2021年は一段と個性を増し、石を感じさせるミネラル感、シャープな酸、たっぷりとした果実の凝縮感が心地よい。

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161 FAX:03-5829-6171



★LOWER EAST/ローアー・イーストはボルドーに習ったグラマシー・セラーズのセカンド・ワイン。

コロンビア・ヴァレーの個性、飲みやすさ、味わいと価格におけるコストパフォーマンスの良さを目標とします
格落ちキュヴェだけでなく、このローアー・イーストの個性を表す為の専用の畑も使います

ローアー・イースト＝ワシントンの南東にあるコロンビア・ヴァレーとワラ・ワラ・ヴァレーを表すが、ニューヨークにちなんだグラマシー・セラーズらしく、ニューヨークのローアー・イースト・サイド（かつては労働者階級の街であったが、近年高級化が進みスノッパードアーティストがたくさん集まる個性的な地区となっている。）のイメージをワインにも込め、親しみやすい味わいと個性を扱いやすい価格で2種類を造ります。シラーとカベルネ。ソーヴィニヨン。

ローアー イースト シラー コロンビア ヴァレー 2020 Lower East / Syrah Columbia Valley

品種：シラー89%, Carignan 8%, Mourvedre 3%

希望小売価格 4,900円 (税別)

畑：ワシントンの南東（ローアー・イースト）コロンビア・ヴァレーの畑よりヴィンテージにより変更あり。

2020年の畑は75%がワラ・ワラ・ヴァレー、25%がヤキマ・ヴァレーとなった。

★ワラ・ワラ・ヴァレー：レ・コリン（オレゴンとの境界線の北、ブルー山脈の山裾・東側の斜面、シラートップ畑）

ホーリー・ローラー（ロック・ディストリクト、ごろごろとこぶし大の石が畑を覆う）

★ヤキマ・ヴァレー：レッド・ウィロー（ヴァレーの一番西端うねるような斜面の畑）

オルセン・ヴィンヤード（ヴァレーの東端、レッド・マウンテンに隣接）

マルコー・ヴィンヤード（ヴァレーの西、レッド・ウィローに隣接）

醸造：70%全房醗酵、コンクリート・タンクを使って醗酵。

仏産樽(225ℓ)とパンション(500ℓ)で21ヵ月熟成

ヤキマ・ヴァレーの標高の高い畑からはフレッシュさを、ワラ・ワラ・ヴァレーからは酸の秀逸さをブレンド。ワラ・ワラ・ヴァレーのワシントン側グラマシー・セラーズがシングル・ヴィンヤードとしてリリースするレ・コリンの畑からは格上のローズ・タイプの特徴（酸とスパイスと堅牢さ）と、オレゴン側・特徴あるロック・ディストリクト（名前の通り岩がごろごろしている）畑からシラーらしい土臭さや肉や血を思わせるニュアンスや塩っぽさが現れる。味わいはアブローチしやすい果実感が満載で、ブラックベリー、ダーク・チェリーのような果実系のアロマ、牛肉のたたきやベーコン、ベーキング・スパイス、クローブのような肉料理系のニュアンス、小石、土や岩、塩っぽいミネラル感も感じられる。ミディアムからフル・ボディ。フレッシュでこなれたタンニンが楽しめ、きめ細かい酸が優しく全体を包む。スムーズでバランスがとれ、エレガントな味わい。肉料理、特に赤味肉、ジビエとは好相性。





ローアー イースト カベルネ・ソーヴィニヨン コロンビア ヴァレー 2017 Lower East / Cabernet Sauvignon Columbia Valley

希望小売価格 **5,300円** (税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 82%、メルロ 106%、カベルネ・フラン 7%、プティ・ヴェルド 1%

畑：ワシントンの南東（ローアー・イースト）コロンビア・ヴァレーの畑よりヴィンテージにより変更あり。

ホース・ヘブン・ヒルズ：フィニー・ヒル・ヴィンヤード

ワラ・ワラ・ヴァレー（市街地南）：ペッパー・ブリッジ、ロエス（レオネッティの自社畑市街地東ワイナリーの南）

ワラ・ワラ・ヴァレー（ロックス）：オクターヴ・エステート、オールド・ストーンズ

★このワインのスタートは、Phinny Hill/フィニー・ヒルのオーナー・ディック・ベイトル氏がグラマシー・セラズ専用のブロックを造ってくれたことから始まった。ホース・ヘブン・ヒルの特徴でもある岩がちの土壌（ボルドー・グラブ地区に似た）から赤系ベリー、土・岩のニュアンス、ハーブ、生き生きとした酸、かっちりとしたタンニンを生み出す。そこにワラ・ワラ・ヴァレーの畑の特徴である青・黒系ベリー、味わいの中心にある果実の凝縮感をブレンドすれば完璧なブレンドワインになると確信してローアー・イーストを造り始めた。

★2017年は特に自社畑オクターヴ＝ワラワラ・ヴァレー（ロックス地区）の最南、ブルーマウンテンの山麓標高400mの高地にある畑の特徴が顕著に現れ、複雑味と秀逸な酸を加味している。

醸造：仏産樽 17ヶ月熟成（32%新樽）パンチオン 500ℓと通常バレル 225ℓを組み合わせる使用

味わい：明るくフレッシュな香草、黒鉛、花のアロマが印象的。プラムとチェリーの風味は、非の打ちどころのないバランス、エレガンス、余韻の長さを示している。果実のフレッシュさも魅力的。

チミチュリ・ソース（ピネガー、ハーブ、ガーリック、唐辛子を使った南米のソース）焼いたステーキと一緒に食卓に並べれば、その魅力を最大限に引き出せるだろう。

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161 FAX:03-5829-6171

カベルネ・ソーヴィニヨン コロンビア・ヴァレー 2018 Cabernet Sauvignon Columbia Valley

希望小売価格 **9,000円** (税別)

コロンビア・ヴァレー内にある、厳選した畑のカベルネ・ソーヴィニヨンをブレンドし「コロンビア・ヴァレーAVAワイン」としてリリース。ヴィンテージにより精査して使用する畑を決める。ヴィンテージによって、単一畑でサブ・アペラシオンを名乗れる時もあるが、葡萄の出来具合などによって、他の畑とのブレンドになる可能性もあるので、AVAはコロンビア・ヴァレーとしている。クラシックなボルドー・スタイルのワインを目指し、特にイメージするのはシャトー・レオヴィル・ラス・カスのカベルネ・ソーヴィニヨン。ワシントンのカベルネの良さであるまろやかなタンニンと過熟でないバランスの取れたボディが特徴。



品種・畑：2018年は2つの品種、3つの畑のブレンドとなった。

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 96%、メルロ 4%

畑 1. フィニー・ヒル・ヴィンヤード（ホース・ヘブン・ヒルズ） 75%

葡萄のクオリティが年々上がってきており、カベルネ・ソーヴィニヨンらしい、しっかりとした骨格とタンニン、ボルドー・スタイルの様々なハーブ、土のニュアンスが非常に心地良く現れる。

畑 2. セージ・ムーア・ヴィンヤード（バックス&ディオニソス区画） 16%

パスコ=地方空港近郊にあり、コロンビア・ヴァレーAVAとなる。1960年代に開墾、植樹されたワシントン州の中でも屈指の伝説的な畑で（プレミアム・ワイナリーがこぞって使う有名畑、樹齢は30-50年）、ブルーベリー系の果実味の力強さ、凝縮感、力強さ、複雑味を加味する。

畑 3. グラマシー・エステート（自社畑）JB ジョージ・ヴィンヤード&オクタヴィア（ワラ・ワラ・ヴァレー） 9%
有名なペッパー・ブリッジ・ヴィンヤードと道を挟んだ隣にあり、ボルドー品種が植樹されている。2018年は素晴らしい仕上がりで、コンクリート・タンク発酵させたカベルネはミネラル感、タンニン、スモークのニュアンス、骨格、しなやかなタンニンなど全てが含まれたことが驚きである。メルロは今までペッパーブリッジの古樹を使ってきたが、2018年は4%の全てこのJBジョージ・ヴィンヤードを使った。

ワラ・ワラ・ヴァレーのメルロは今後注目が必ず集まると確認している。カベルネ・ソーヴィニヨンの補助品種としてだけでなく、凝縮感、複雑味、特に味わいの中核部分を埋める重要な役割を担う。

熟成：仏産樽 22ヶ月熟成（新樽 33%）

味わい：2016や2017よりもより生き生きとしたフレッシュ感が特徴。深い色合い、赤系、青系、黒系の果実が素晴らしいコンビネーションを示し、硬い岩や石のような土壌を思わせるニュアンスや鉛筆の芯のような鉱物的ミネラル感が現れる。口当たりはしなやかで、味わいは複雑で深く、ビター・チョコレートのようなくっきりと完熟した果実の味わいがあるが、心地よい酸と重すぎないバランスが見事な仕上がり。エレガントさを感じるまろやかな印象が全体を締める。タンニンはこなれているがしっかりと中核に存在する。

Jeb Dunnuck Point 94P July 2022 by Jeb Dunnuck

株式会社中川ワイン TEL 03-3631-7979 FAX 03-3631-7980

シラー レ・コリン・ヴィンヤード ワラ・ワラ・ヴァレー
2019 SYRAH Les Collines Vineyard Walla Walla Valley 希望小売価格8,800円(税別)



品種：シラー97%、ヴィオニエ 3%

畑：Les Collines Vineyard レ・コリン・ヴィンヤード

シラーこそワシントンの個性を十分に引き出ことが出来るベストな品種と信じており、その中でも、レ・コリン・ヴィンヤードのシラーは、ワラ・ワラ・ヴァレーのみならず、ワシントン州の中でもTOP 5に入る畑と確信している。

レ・コリン・ヴィンヤードはワシントン州ワラ・ワラ・ヴァレーのブルー山脈の山裾・東側に位置する。標高 347m-418mの斜面にあり細かい区画に分かれている。グラマシー・セラーズは斜面上部 380-417mにあるブロック 36, 46, 49 の区画から葡萄を調達する。

斜面上部の表土は非常に浅く、水はけがとても良く葡萄の樹は母岩に届くまで深く根を伸ばす為、地中から水分、栄養分、鉱物的ミネラルを吸い上げる。生物学的に健康で果実と酸のバランスがとれ、複雑味を兼ね備えた完璧な葡萄が調達できる。2017 年はブロック 46 がメイン。

仕上りは、北ローズのシャープやベルナルド・フォーリーをイメージしている。わずかな梅香をふんわりと残し、スパイシーでパワフルながらフィネスとエレガンスを兼ね備える、濃さで勝負しない食中酒としてのシラーが目標。

醸造：100%全房醗酵 20~24 日間をかけコンクリートとステンレス槽にて醗酵。仏産の樽材を使ったストキンジャー製 2000ℓと、500ℓのパンチョン、225ℓのバレルで17ヶ月熟成（新樽 4%）

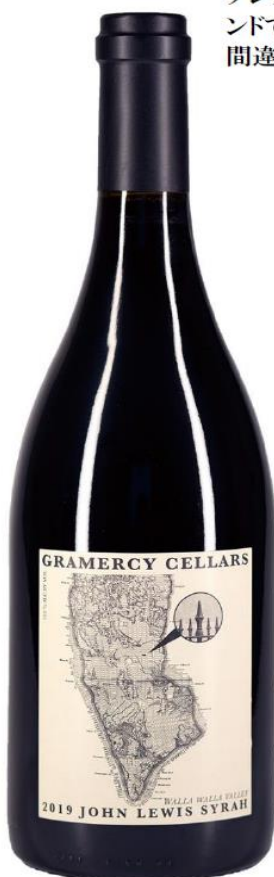
生産量：289 ケース

味わいコメント：土や岩、鉱物的な要素、肉や血のようなニュアンスが満載。クラシックなシラー、そしてレ・コリンの魅力満載。スモーク、ペッパー、赤味の肉、赤・青・紫系のベリー風味が長く続く。口に含むと、綺麗な酸味と果実のフレッシュさが弾ける。タンニンもしっかりしていながら、口当たりはとてもシルキー。味わいには飲み進めると更に赤い果実の風味が増し、ハーブ（ペッパーやタラゴン、ナツメグなど）が現れる。驚くほどの余韻と複雑さ。上級キュヴェのジョン・ルイスに迫る勢いを持つ。

料理との相性：シャルキュトリ（サラミやサルシッチャ）などとの相性が抜群。定番のジビエ（鴨、うずらなど）にフルーツ系のソースや、赤みの肉のロースト、スパイシーな味付けのメキシカンやタイ料理とも楽しめる。 **Vinous 93P dated October 2021 by Antonio Galloni**



ジョン ルイス シラー ワラ ワラ ヴァレー
2019 John Lewis Syrah Walla Walla Valley 希望小売価格13,500円(税別)



グレッグ・ハリントン談「毎年最高のシラーを造るためにシラーの各畑、各ブロックのキュヴェをブレンド・セレクションをするが、2017 年から今年もレ・コリンのブロック46が選ばれ続けている。間違いなくグラン・クリュに値する区画である。フィネスとバランスのグラマシー最高のワイン。」

品種：シラー100%

畑：Les Collines/レ・コリン（ワラ・ワラ・ヴァレー、ワシントン・サイドの一番南）

斜面中腹部に位置するブロック 46 のシングル・キュヴェ

醸造：90% 全房醗酵

熟成：仏産 500 リットル樽（パンチョン）&ストキンジャー大樽 2000ℓにて19ヶ月熟成（新樽 10%）

オーナー・グレッグ・ハリントンの妻パムの父の名前を冠した、フラッグシップワイン。ラベルにはニューヨーク・マンハッタンにあるグラマシー・パークの場所を示している。最高級のシラーに求められるすべての要素が詰まったワイン、長い樽熟成ながら、樽のニュアンスはワインに溶け込み、しなやかで複雑性に富み、非常に長い余韻。パワフルながらフィネスとエレガンスが存在するグラマシーを象徴するワイン。世界中より要望が集まる。（生産量約200ケースのみ）

2019 年はグラマシー・イヤーと言えるほど、暑すぎず、綺麗な酸を残すことが出来た最良年となった。レ・コリンの畑は斜度のきついブロック 46 を使い、酸が生きて存在し、ラズベリー、チェリーなどの甘酸っぱさが先立つが、アジア系のスパイスやたばこ、黒胡椒、ヴァニラのアロマが薫り立ち、肉や血、動物的なニュアンスが現れる。

全体的な味わいは、塩分、鉄分、グリーンオリーブ、オレンジピールオイル、紫色の花・マウンテンローレル、ペパロニとサラミ、グリーン系ハーブ（セージ、タイム）、軽いスモークのニュアンス、黒胡椒、中近東スパイス、赤・黒系ベリーなど数え上げればきりないほどの香りが立ち上がってくる。しっかりした酸、かっちりとしているがミディアムレベルのタンニン、バランスは最高に良い。いつもよりリッチで豊満。深さ、強さ、複雑さの素晴らしい組み合わせで、エレガントだが力強い。口全体に広がる長い余韻。長熟を期待できる驚異的なワイン。

Vinous 94P dated October 2022 by Antonio Galloni